

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 鳥取県智頭町
 本事業の担当部局名 教育課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業							
区分	重点メニュー							
関連事業メニュー	1.2.2 若い世代の描くライフデザイン支援							
個別事業名	赤ちゃん先生による「命の授業」開催事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続		
実施期間	令和8年4月1日	～	令和9年3月31日	事業開始年度	令和7年度			
総事業費(A)(円)	60,000	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	60,000			
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	60,000							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	60,000	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	60,000	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金	計		
	総事業費	0	0	0	0	60,000		
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	60,000		
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0		
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 未婚の男女が出会う場も少ない。出会いの場を創設し、若い世代に焦点を当てた婚活の場を設ける。育児においては、少子化が進行し、親同士のつながりも希薄となりつつあり、育児に不安を抱えている保護者も少なくない。そのような中育児に関する事業を行うことで、育児の不安から解消されたり、孤立化も防ぐことが出来る。</p> <p><本個別事業の位置付け> 少子化が進行し、普段の生活で乳幼児と触れ合う機会が減少している。乳幼児ふれあい体験により、小学2年生に対して赤ちゃん先生授業を行う。</p>						

個別事業の内容	番号	項目	内容
	1	赤ちゃん先生による「命の授業」開催事業	乳児と母親を講師として、乳児の育ちや子育てについて学ぶ「命の授業」を実施する。 ・内容: 赤ちゃんに触れ合い、赤ちゃんが母親から生まれたときの話、乳児の生活リズムなどの話をきくことで、子どもたち一人一人に大切な命があることを学ぶ。 ・対象: 町内小学2年生 ・回数: 年2回
<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> ・年2回の実施を行い。大きな課題は見られなかった。参加者に好評で、勉強になったとの声を聞いている。 ・昨年前は1回の実施であったが、本年度は既に2回実施している。来年度においても2回実施予定である。			

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
		合計特殊出生率			1.52 (R8)

参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
		合計特殊出生率		1.43 (R6)	
		婚姻件数	件	18 (R6)	
		婚姻率		3.03 (R6)	

個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	赤ちゃん先生	回	2 (令和8年度)	2 (令和7年12月現在)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	70 (令和8年度)	-
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					